

地域づくり表彰

特定非営利活動法人 美郷宝さがし探検隊
(徳島県吉野川市)

地域の「人・自然・伝統・文化」を美郷の「宝」として

特定非営利活動法人
美郷宝さがし探検隊

理事長

あかいし みつひろ
明石 光弘



1. 吉野川市の概要

吉野川市は徳島県のほぼ中央に位置し、平成16年10月1日に鴨島町、川島町、山川町及び美郷村の4町村が合併した市です。

市を構成する4つの地域は、鴨島町は商業の町、川島町はかつての城下町、山川町は霊峰「高越山」が育む自然豊かな町、そして美郷は日本の原風景がそのまま残る豊かな里山であり、都市と自然とのバランスが取れたまちです。

2. 活動開始の背景・経緯

吉野川市美郷は、合併前の旧美郷村から過疎化や住民の高齢化による地域活力の低下や将来に向けたまちづくりが懸念されるようになりました。

このことから、失われつつある美郷の伝統や文化資源を継承しながら地域の活性化を図り、住民が自信と誇りをもって生活できる環境の創造を目的として、旧美郷村役場が地元住民に呼びかけを行い、平成10年7月に美郷宝さがし探検隊を設立しました。

美郷宝さがし探検隊の活動は、地域の魅力の案内役と継承者(隊員)を増やす取組みとともに、地域イベントを担う役割として、これまで地道に活動を広げ、平成22年9月には特定非営利活動法人の認証を受けました。

現在は、吉野川市から「美郷はたる館」の指定管理者の指定を受け、地域拠点として、また、地域の窓口コーディネーターとして美郷のイベントや移住促進、地域外の方々との交流など多くの活動に取り組んでいます。



美郷宝さがし探検隊のメンバー

3. 地域の風景を「宝」にした活動

にほんの里100選に指定されている「高開の石積み」は、長く連なった石垣が、急斜面に何段も積み上げられており、城塞のような光景に圧倒されます。300年以上前の江戸時代から、南向きの険しい土地を切り開いた山村集落の段々畑は、この石垣によって支えられてきました。段々畑を中心としたモザイク状の土地利用は、人と多様な生き物が暮らす豊かな空間を生み出しています。



にほんの里100選 高開の石積み

美郷宝さがし探検隊では、高開で石積み名人であった故高開文雄さんの指導のもと、石垣の修復活動を行うとともに、地域内外のボランティアの協力を受け、地域の環境保全を行ってきました。現在では、故高開文雄さんから学んだ大学生が一般社団法人石積み学校を設立し、高開石積みの修復だけでなく、全国で石積み技術の伝承に取り組んでいただいています。



石積み学校(企業の新人研修等)

また、毎年、企業の協力のもと、新人研修等のフィールドとして活用いた

だいており、石積み修復活動を通じて、地域の環境保全に協力いただくとともに、美郷を知っていただくキッカケにも繋がっています。



高開の石積みシバザクラ

高開の石積みは、毎年4月中旬になると、石垣のあちこちに植えられたシバザクラが美しい花を咲かせます。

美郷宝さがし探検隊は、これをたくさんの方に見てもらいたいと思い、開花時期に合わせて「シバザクラまつり」の開催や12月には「石積みのライトアップ」を実施してきました。



高開の石積みの幻想的な姿

12月の石積みのライトアップでは、昔のように提灯をもって暗い足元を照らしながら、石積みを歩き散策し、探検隊のメンバーがお接待のアメ湯を提供するなど、美郷の風景や人を好きになってもらい、「美郷にまた来たい」と思ってもらえる取り組みを行ってきました。

残念ながら近年は新型コロナウイルス感染症や鳥獣被害の影響により、シバザクラまつりは開催できていませんが、再開できることを願い、これからも地域の環境保全活動に取り組んでいきます。

4. 天然記念物ホタルの保護から 創意工夫

国の天然記念物に指定されているホタルは、四国では美郷だけです。

美郷宝さがし探検隊では、ホタルの発生期間である5月下旬から6月中旬まで地域住民や小学校、企業に協力をいただき、飛翔調査や啓発活動、クリーンアップなどホタルの保護活動に取り組んでいます。



国の天然記念物 美郷のホタル

また、ホタルの発生時期には、毎年約3万人の方が美郷を訪れる「美郷ほたるまつり」を開催していましたが、近年、新型コロナウイルス感染症により中止となっています。

新型コロナウイルスの影響で中止となったほたるまつりの代わりに、令和3年には徳島県内の映像作家の協力のもと、ホタルの舞う様子を360度カメラで捉えたホタルのVR画像等を美郷ほたる館のホームページに公開し、コロナ禍においても美郷のホタルを少しでも多くの方に楽しんでいただける工夫をしています。

5. ホタルの川を自然学習の場に



川の学校 カップ教室

ホタルが棲む川田川には多くの水生生物が生息しています。

美郷宝さがし探検隊では、子どもの頃に体験した自然体験が、自然を大切に・故郷の美しさを思い出すキッカケになってもらえればと、子どもたちを対象に川の生き物観察や昔なつかしい手作りの竹の水鉄砲などで川遊びができる「川の学校カップ教室」を開催しています。

室」を開催しています。川の学校を通じて美郷の自然や知恵を学ぶ場所づくりを行っています。

6. 四季を活かした活動

自然豊かな地域である美郷は、四季を活かし、梅の花まつりや季節に合わせたウォーキングイベントの開催など、年間を通じてイベントを行っています。



季節ごとのウォーキングイベント

平成20年には全国で初めて美郷地区が「梅酒特区」の認定を受け、酒蔵5蔵・農家民宿3軒と連携し、毎年大勢の観光客が訪れる「美郷梅酒まつり」を各事業者と協力して行ってきました。梅酒まつりは、一つの会場で開催する訳ではなく、美郷地域の各所にある酒蔵や農家民宿を巡ることで、美郷のすべてを感じることができます。

今年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図りつつ、3年ぶりに美郷梅酒まつりを開催しました。



全国初の梅酒特区



地域を巡る 梅酒まつり

7. 成果

美郷宝さがし探検隊では、美郷の「人・自然・伝統・文化」を美郷の「宝」として、これまで地域の環境保全や地域おこし活動を行ってきました。

四季を活かしたイベントでは、年間約4万人が美郷を訪れ、川の学校「カップ教室」では約1,500人の子どもたちが参加しています。

また、川の学校のほかにも、隊員が先生となり、ほたるかご作りや苔玉作りなど地域の伝統を継承する講座を行っており、人気を集めています。



ほたるかご作り体験

8. 課題と展望

美郷における高齢化や後継者不足は、依然厳しい状況ですが、美郷宝さがし探検隊のこれまでの活動により美郷内外にたくさんの協力者が増えてきました。

また、近年は吉野川市の若い世代を中心とした「NPO法人Tane」が結成され、美郷におけるイベントの手伝いなど連携が始まり、活動の持続性が大いに期待できるようになってきました。

美郷宝さがし探検隊の「やってみよう」の気持ちを次世代に受け継ぐとともに、これからも美郷の「宝」を発掘していきます。



NPO法人 Tane

美郷の魅力を感じて、美郷に来たい！手伝いたい！と思える地域おこし活動や情報発信を行い、美郷へ訪れる方を一人でも多く増やす取り組みを継続していきます。

また、これは課題ではありますが、美郷宝さがし探検隊が持続的に活動を継続していけるよう、団体の収益確保をより一層検討していきたいと考えています。